

取材のお願い

映画人材育成事業「タレンツ・トーキョー2019」公開プログラム ～11/28 オープン・キャンパス「私たちの十年」開催～

国際交流基金アジアセンターは、11月25日（月）から11月30日（土）の日程で、東南アジア・東アジアの若手映画監督とプロデューサーを対象とした人材育成事業「タレンツ・トーキョー2019」を開催します。

「タレンツ・トーキョー」（TT）は、映画分野における人材育成事業として、映画監督やプロデューサーを目指すアジアの参加者（以下タレンツ）に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供するものです。映画監督、プロデューサー、セールスの各部門において世界で活躍するプロフェッショナルを講師陣として迎え、講義やプレゼンテーションを通じて参加者の育成を図ります。また、タレンツ同士の交流や講師とタレンツとの交流、さらには、同時開催される映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画監督たちとタレンツとの交流により、タレンツが国際的なネットワークを新たに築くことを目指しています。

会期中の11月28日（木）には、下記の通りオープン・キャンパス及び公開プレゼンテーションを実施します。ご取材を希望の場合は、下記広報担当までご連絡ください。



タレンツ・トーキョー2018の様子

記

■開催概要

事業名称：タレンツ・トーキョー2019

開催日程：2019年11月25日（月）～11月30日（土）

※「第20回東京フィルメックス」開催期間中の6日間

会場：有楽町朝日ホール・スクエアB（有楽町マリオン11F）※ネットワーキング交流会はスクエアAで開催

対象者：映画監督、プロデューサーを目指す者15名

主催：国際交流基金アジアセンター、東京都、
公益財団法人東京都歴史文化財団、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）

提携：ベルリナーレ・タレンツ（ベルリン国際映画祭）

協力：ゲーテ・インスティテュート 東京ドイツ文化センター

■公開プログラム

(1) 11月28日（木）13:00-14:30 オープン・キャンパス「私たちの十年」

(2) 11月28日（木）15:00-18:00 公開プレゼンテーション

(3) 11月28日（木）18:30-20:00 ネットワーキング交流会

(4) 11月30日（土）17:15-17:45（予定）授賞式及び閉会式

※メイン講師や公開プログラムの詳細については、後頁をご参照ください。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

「タレンツ・トーキョー 2019」メイン講師

ブリランテ・メンドーサ (監督)

フィリピン映画を代表する映画監督。フィリピン人で初めて 3 大映画祭にて賞を受賞する。2007 年ベルリン国際映画祭では、『どん底』がカリガリ賞を受賞。2012 年には、『囚われ人パラワン島観光客 21 人誘拐事件』が同映画祭のコンペティション部門で上映される。2009 年には、『グランドマザー』がヴェネツィア国際映画祭の金獅子賞にノミネートされた。2012 年には、『汝が子宮』が La Navicella Venezia Cinema Award を受賞。『キナタイ マニラ・アンダーグラウンド』が、2009 年カンヌ国際映画祭の監督賞を受賞。その一年前には、『サービス』がパルムドールにノミネートされている。2016 年には、『ローサは密告された』がカンヌで主演女優賞を受賞。同作は、2017 年アカデミー賞のフィリピンエントリーになった。



ジェームズ・リュウ (プロデューサー)

30 年のキャリアを持ち、自主映画のプロデューサーとして幅広い活躍を遂げる。2005 年に、台湾自主映画の世界配給に特化した Joint Entertainment を設立。2015 年には、自主映画の製作とプロデュース業を受け持つ Joint Pictures を設立。最新作では、タレンツ・トーキョー 2013 修了生、チャン・チーウェイ監督の『Jang Gae』の製作に関わる。『Jang Gae』は 2015 年にネクスト・マスターズ・サポート・プログラムの企画開発ファンドを受賞した。代表作には、園子温監督の『希望の国』(2012)、藤田容介監督の『福福荘の福ちゃん』(2014)、『十年台湾』(2018)、半野喜弘監督の『パラダイス・ネクスト』(2019) 等がある。



セバスティアン・シエスノ (ワールド・セールス)

映画業界で 20 年以上活動する。これまでに France Télévisions Distribution、セルロイド・ドリームズ、Rezo で働く。2014 年の終わりに、年間 8 本の映画を扱うワールド・セールス企業、Cercamon を立ち上げる。Cercamon とは、オクシタン語で「世界の探求者」を意味し、同社はメジャーなマーケットと映画祭を網羅する。担当した映画には、ダリボル・マタニッチ監督の『灼熱』(2015) (カンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞受賞)、カミラ・アンディニ監督の『見えるもの、見えざるもの』(2017) (ベルリン映画祭 K プラス長編映画作品賞受賞)、カーステン・タン監督の『ポップ・アイ』(2017) (サンダンス映画祭オフィシャル・セレクション、ロッテルダム国際映画祭ビッグスクリーンコンペティション最優秀作品賞受賞) 等がある。



また、今回のプログラムにはベルリン国際映画祭 (ベルリナーレ・タレンツ) より、フロリアン・ウエグホルン氏 (プログラム・マネージャー) も参加いたします。

この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金 コミュニケーションセンター (広報担当 : 熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

「タレンツ・トーキョー2019」参加者

監督：

Fei Pang WONG (香港)
Sinung Winahyoko (インドネシア)
古川原壮志 (日本)
三澤拓哉 (日本)
KANG Heayun (韓国)
Douglas SEOK (韓国/アメリカ合衆国)
Joseph Albert MANGAT (フィリピン)
CHIANG Wei Liang (シンガポール)
WANG Ping-Wen (台湾)
Ash MAYFAIR (ベトナム/アメリカ合衆国)

プロデューサー：

XU Jianshang (中国)
ZHOU Xinyu (中国)
Suryo Wiyogo (インドネシア)
水野詠子 (日本)
Carlo VALENZONA (フィリピン)

1. 11月28日(木) 13:00~14:30 オープン・キャンパス「私たちの十年」

今年の東京フィルムフェスティバルのコンペティション部門に初長編作品『昨夜、あなたが微笑んでいた』が出品されるニアン・カヴィッチ氏 (TT2016 修了) ほか、過去の TT 修了生を迎え、タレンツ・トーキョーの10年の歩みを振り返ります。

登壇者：ニアン・カヴィッチ氏ほか

使用言語：英語 (日本語同時通訳あり)

2. 11月28日(木) 15:00~18:00 公開プレゼンテーション

参加者がプロデューサーや配給会社に対して、自身の企画のプレゼンテーションを行います。

※ 著作権保護のため、動画撮影はご遠慮ください。日本語同時通訳あり。

3. 11月28日(木) 18:00~20:00 ネットワーキング交流会

プレゼンテーション終了後、隣室のスクエアAでタレンツとのネットワーキング交流会を開催します。

4. 11月30日(土) 17:15~17:45 (予定) 授賞式及び閉会式

公開プレゼンテーションを行った企画のうち、優秀な企画1点を表彰します。

日本語逐次通訳あり。

タレンツ・トーキョー (Talents Tokyo) について

2010年に「ネクスト・マスターズ・トーキョー (Next Masters Tokyo)」として開始した本プログラムは、翌年から2013年まで「タレント・キャンパス・トーキョー (Talent Campus Tokyo)」、2014年から現名称で、ベルリン国際映画祭で開催されている人材育成プログラム「ベルリナーレ・タレンツ」のアジア版として開催されています。6日間のワークショップでは、第一線の映画人による講義を行うほか、参加者は自身の映画企画について彼らから直接アドバイスを受けてプレゼンテーションを行います。ここで築いたネットワークも生かされ、近年、世界の主要な映画祭において、修了生たちはめざましい活躍を見せています。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター (広報担当：熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp